参 考 資 料 ２
大学ポートレート運営会議（第２２回）
令 和 ７ 年 ３ 月 ５ 日

大学ポートレートを高等学校の進路指導に活かすために

令和6年12月4日

東京都立墨田川高等学校
統括校長　渡邊 範道

ご挨拶並びに自己紹介

渡邊 範道　わたなべ のりみち

東京都立墨田川高等学校 統括校長
全国高等学校長協会
大学入試対策委員会 委員長
全国普通科高等学校長会　副理事長

本校の概要と生徒の状況

創立102年目の伝統校「七高」

各学年（年次）8クラス（計 24 クラス）

全校生徒932名（男子406名・女子526名）

進学重視型単位制高校（都で3校）

進学指導推進校（都で15校＋このほかに上位指定校14校）

→卒業生の90％近くが大学に進学

東京都の進学指導指定校

進学指導重点校（7校）

日比谷、西、国立、八王子東、
戸山、青山、立川

進学指導特別推進校（7校）

小山台、駒場、新宿、国分寺、町田、
小松川、国際　（青字は進学重視型単位制）

進学指導推進校とは

進学指導推進校（15校）

三田、竹早、城東、豊多摩、北園、
武蔵野北、調布北、小金井北、
日野台、多摩科学技術、昭和、
江北、江戸川、上野　**そして墨田川**

本校の3か年進学実績（現浪合計）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
国公立大学	31	21	26
早慶上智理科大	35	20	14
G-MARCH	122	109	56
成成獨國武明学	93	75	75
日東駒専	221	196	149

1　高等学校の進路指導が目指すもの

墨田川高等学校長の思い

○「予習→授業→復習＋自発的学習」の「学びのサイクル」
　の定着による学力の伸長
○「総合的な探究の時間」での進路意識の向上及び
　学問的探究意識の育成
→　○ 主体的かつ意欲的に学び、自己の進路を考える
　　生徒の育成
　　○ 大学入学後、社会的な課題を解決しようとする
　　人材の育成

1　高等学校の進路指導が目指すもの

墨田川高等学校長の思い
（とは言うものの…現実には）

○「進学重視型単位制高校」の特徴を生かし
「進学指導推進校」としての役割を果たす必要
→　国公立大学及び難関私立大学合格実績の向上
国公立大学　20名、早・慶上智理科大　15名
GMARCH　80名　の数値目標を掲げる

○ 増加傾向にある国公立大の総合型選抜への対応

２　本校の進路指導の実際

【全年次共通】　受験対策

○ 模擬試験の受験と活用

○ 学習用動画・課題配信サービス利用

○ 校内予備校（教育庁都立学校教育部の事業）

○ 進路手帳の活用（学習サイクルの定着）

【1年次】

○ 勉強合宿（2泊3日）

２　本校の進路指導の実際

【3年次】　情報の提供

○ 受験ガイダンス

○ 大学入学共通テスト説明会

○ 学習・進路指導支援サービス『COMPASS』（ベネッセ）

【1，2年次】　情報の提供

○ 受験報告会

○ 大学説明会（大学入試課担当者による）

○ 大学模擬講義（大学教授による）

○ 学習・進路指導支援サービス『COMPASS』（ベネッセ）

○ 進路適性検査『学びみらいPASS』（河合塾）

→　アセスメントテストで「リテラシー」と「コンピテンシー」を測定。結果から文理傾向や職業・学問適性を診断。

3　大学ポートレートの活用に向けて

(1) 優れている点(おもな意見から)

①　信頼感

○ 信頼できる広範な情報が豊富に掲載されている。
○ 認証評価等の評価結果は質保証の検討に適している。

②　構成と機能

○ レイアウトが同じフォーマットで探しやすく比べやすい。
○ 検索機能が充実している。
○ 大学・学部学科を比較検討するのに適している。
○ 国公立大学の情報が充実している。
○ 所在地での検索が便利。(特に地方の生徒に？)

3　大学ポートレートの活用に向けて

(2) 改善が求められる点（意見から）（○生徒意見、□教員意見及び私見）

①　トップページの工夫

○ いきなり大学名の検索で面食らった。
○ 自分で何から始めてよいかわからなかった。
□「ご利用の方へ」の「大学ポートレートの使い方」を目立たせるべき。

②　情報収集の経過とゴール

○ たくさん大学が出てきて調べるのが大変だった。
○ 何を調べるのか明確でないとはじまらない。
○ 国公立大学と私立大学が別々なのが使いづらい。
○ 調べ始めてから最後に何が得られるのか見通せなかった。
○「リンク先から確認願います」など情報の空白が意外と多い。
○ 結局最後は大学のホームページなら最初から見る方が早い。
□ 検索や情報収集に目的意識や気付きを持たせる指導が必要。

3　大学ポートレートの活用に向けて

(2) 改善が求められる点(○生徒意見、□教員意見及び私見)

③　生徒の視点(気持ち)に寄り添った用語・項目を

○ 掲載情報の言葉に一部難しいものがあった。
○ 高校生向けの情報かと思うものがあった。
○ 調べたいことを探すのに時間がかかった。
○ 大学別のパンフレットの方が分かりやすかった。
□ 就職者数や教職員数のデータは示し方に工夫が必要。
□ レイアウトが揃っているので比較項目の抽出には便利だが、「なかみ よりかたち」重視に感じる。

4　高校の進路指導に活かすために

【提案】

提案①　強みを打ち出した積極的なPRを

○ 圧倒的な信頼感
○ 広範で豊富な情報と同形式掲載で比較に便利
○ 検索機能の充実
○ 特に国公立大学の情報が充実
○ 地方の生徒には所在地での検索も便利（？）
○ 認証評価等、質保証の検討にも活用

→ 全国高等学校進路指導協議会の全国進学指導研究大会などでの指導実践事例を用いたPR

4　高校の進路指導に活かすために

【提案】(続き)

提案②　特長と役割を明確にした指導ツールの開発

○ 生徒が大学を比較検討する際に強み

（比較するためのツールではない？！）

→ 比較項目を考えさせ、主体的に選択する仕掛け

学びたい学問、取りたい資格と取得のための支援

海外留学支援、学費・奨学金など経済的支援など

「新・大学比較検索ワークシート」の作成指導案の開発

→ 検索項目をどこまで具体化するか事前検討が大切

○ 教員向けには学生支援の比較と質保証の検証に活用

→ 在籍者数、退学者数、留年者数、就職データなど、

認証評価及びその他の評価結果の情報

4　高校の進路指導に活かすために

比較したい項目 第●位	大学名	内容や程度	感想とメモ
この項目を生徒に 考えさせる指導 ⇩ 選択のための 価値観をつくらせる 【例】 「児童心理学」が 学べる大学・学部	●●大学 （●●学部）		
	●●大学 （●●学部）		
	●●大学 （●●学部）		

4　高校の進路指導に活かすために

【提案】(続き)

提案③　トップページ等の工夫・改善

○「ご利用の方へ」のなかの「大学ポートレートの使い方」を「高校生向け便利な使い方」としてリニューアル

○ 私学版「フリーワード検索」を「学びのキーワード」検索へ

～ いきなり大学名検索ではなく、高等学校の生徒が求めるもの、必要なものから導く

なりたい職業／学びたい学問／興味のある学部・学科

解決したい社会的課題に誘導する仕掛けを

→「学びのキーワード」から学部・学科の検索につなげる

同時に都道府県検索でも絞り込みなかなか

○ 大学ニュースなどのトピックスで興味を惹く工夫

4　高校の進路指導に活かすために

【提案】(続き)

提案④　生徒の視点に立った用語・項目(上位項目)への改善

- ●　(例)「学生生活支援」は大学側からの見方
- ○ 高校生(将来の学生)からの見方・比較検索では
  →「部・クラブ・サークル活動」＝【下位項目が目立つ仕掛けを】
- ●　(例)「経済的支援」→ ○「奨学金」(「学生生活支援」の大学も)
- ●　(例)「留学生支援(日本人学生への支援)」→○「海外留学支援」
- ●　(例)「様々な取組」の位置付けがまちまち
  「外国人教員(職別)」「外国人留学生(学年別)」人数のみも
- ●　(例)「学びの支援」は幅広でわかりやすいが情報がまちまち

→ 高校生のためだけの情報・活用ツールではないという理解が大切か。
(広く社会的役割を担っている)

まず利用者が「大学ポートレートの役割・目的」を理解する必要あり。

大学ポートレートを高等学校の進路指導に活かすために

大学ポートレートの社会的役割を維持しつつも、
高等学校の生徒に役立ち、
教員が指導しやすいツールとなって、
全国の高等学校で更なる活用が図られることを
願っております。

御清聴ありがとうございました。